

横浜市福祉サービス第三者評価結果報告書

2018年12月21日

株式会社学研ココファン・ナーサリー ココファン・ナーサリーニツ橋 園長 渡部 洋子 様

〒 131-0032
所在地 東京都墨田区東向島6-37-4-1002
評価機関 一般社団法人アクティブ ケア アンド サポート
指定評価機関番号 第11号
電話番号 03-6657-4511
代表者氏名 代表理事 小池一歩 印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

事業所名	株式会社学研ココファン・ナーサリー ココファン・ナーサリーニツ橋
報告書作成日	2018年12月20日 (評価に要した期間 か月)
評価機関	一般社団法人 アクティブ ケア アンド サポート
評価調査員	(神機構-912、横浜市-71)
評価調査員	(神機構-632、横浜市-339)
評価調査員	(神機構-、横浜市-)

評価方法

自己評価方法 (実施期間:2018年7月18日～ 2018年9月28日)	評価機関が提供した手引きを参照しながら、園長が作成し、合議の上、自己評価をまとめた。
評価調査員による評価方法 (実施期間:2018年7月18日～ 2018年11月21日)	事前訪問、提出書類、家族アンケート結果並びに訪問調査の結果に基づいて評価調査員が合議し評価結果をまとめ、評価委員会で決定した。
利用者家族アンケート実施方法 (実施期間:2018年9月14日～2018年9月28日)	保育園から家族へ調査票を配布してもらい、記入後評価機関へ直接郵送する方式により回収した(50世帯中27世帯、回収率54%)。
利用者本人調査方法 (実施期間:2018年11月13日及び11月15日)	訪問調査において、評価調査員が分担してこどもの遊びや生活の様子を観察し、必要に応じ職員や子どもに質問した。

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書のうち、

- 横浜市は定める部分を公表することに同意します。
- 別添えの理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添えの理由書により、公表には同意しません。

年 月 日

事業者代表者氏名

全体の評価講評

特に良いと思われる点
<p>安心・安全でおいしい給食、楽しい給食を提供しています。</p> <p>運営会社(以下、「法人」という。)傘下の系列園の栄養士が集まり、幼児・乳児の成長に合わせたカロリーや栄養素、季節等を考慮し2週間サイクルの献立を作成しています。地元の信頼できる店から新鮮な肉や魚、野菜等を毎朝届けてもらっています。食器類は乳児用・幼児用とサイズを変え、欠けや汚れなど安全性に配慮し、栄養士・調理師が毎回一つずつ確認しています。喫食状況を毎回確認し、残食があるメニューについては、味や形態を変え子どもが美味しいと感じる品に変えています。アレルギー食では保護者とメニューの確認をし、提供時には栄養士、職員間で点検するなど徹底しています。旬の食材を使った献立や行事に相応しい献立にし、子どもの日にはこいのぼりのちらしずし、カボチャ型のご飯とお化け型のハンバーグでハロウィンを祝うなど楽しめる形や盛り付けの工夫をしています。</p>
<p>法人が開発した「学研アプローチ」で子どもが楽しみながら体力・知力づくりを進めています。</p> <p>「学研アプローチ」は、①月刊絵本を活用する、②「もじ・かずランド」の活用により子どもの知的活動を推進する、③スポーツチャンバラで運動や遊びに触れる、この3活動を通して各年齢、成長、発達に応じた独自の保育を目指しています。①は、法人発行の絵本を1～3歳の子ども全員に1冊ずつ配付し、1か月間子どもや職員が読み活用します。月末に家庭に持ち帰り保護者と楽しむという取り組みです。②は、法人のオリジナル教材を使い、子どもが楽しみながら取り組める文字や数、言葉について学ぶ「もじ・かずランド」を研修を受けた職員が指導しています。③のスポーツチャンバラは、研修を受けた指導者により月2回実施し、運動能力を高めるとともに、礼儀や護身を身につけられるよう取り組んでいます。</p> <p>また、法人が作成した「アプローチシート」(人・もの・空間のシート)を使用して園独自の課題、例えば「玄関に保護者への報告物をきれいに掲示する方法」を掲げ、シートを作成・実施・振り返りをしています。玄関の報告物がきれいに、わかりやすく掲示されています。</p>
<p>「運営ガイドライン」や各種マニュアルが整備され、書類がきれいに整理されています。</p> <p>マニュアルとして人権マニュアルや苦情対応マニュアル、虐待対応マニュアル、衛生管理マニュアル等各種マニュアルが整備されています。本社作成の運営ガイドラインに各種マニュアルが集大成されています。運営ガイドラインには、服務規律や保育園長の責務と業務、職員の資質向上のための研修や自己評価、子どもの人権、虐待、衛生管理・感染症、事故・怪我対応、危機管理、苦情対応、入退園手続き、個人情報保護方針等について詳しく手順等が記載されており、職員は運営ガイドラインを活用しています。</p>
さらなる改善が望まれる点
<p>子どもが集中して遊べるコーナー保育への取り組みが不足していると思われます。</p> <p>さまざまな遊びの内容のブースを設け、子ども自らそれを選択し遊ぶ方式を「コーナー保育」といいます。自ら選んだ遊びに取り組むことで、自主性や独創性、創造性を伸ばし、物事に集中して取り組む力を身につけていきます。保育園では紙芝居や制作、歌やリズムなど子どもが集団で行う設定保育が実施されています。子どもの年齢に合わせおもちゃや教材があり、子どもの通常の保育するのに不足はありませんが、保育室には小さな空間やマットコーナーなど子どもが落ち着き、コーナーでの遊びができる空間は少ない状況です。カーペットや柵で小さな空間を意図的に作り、子どもの好きなことへ集中するコーナー保育への試みが必要と思われます。</p>
<p>保護者の満足度を高めていくため、職員の育成、定着が望まれています。</p> <p>運営上の人員配置は、経験のある職員と非常勤職員や新人職員を組み合わせ、スムーズな運営を心掛けています。職員に欠員が出た時は、速やかに本部に報告し人員補充をするようにしています。しかし、今回の利用者家族調査の結果、日常の保育内容について、「こどもが戸外遊びを十分しているか」(問4の2)、園と保護者との連携・交流について、「保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会」(問6の1)、「送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換」(問6の4)の質問に対し、回答者は十分に満足している回答ではありませんでした。保護者の満足度を高めていくうえで、職員の育成、定着に加え、園長を補佐する主任などの育成に力を入れることが望まれます。</p>
<p>育児講座の開設や子育て情報誌の発行、園庭や保育室の開放、出前保育の実施などが期待されます。</p> <p>地域との関係で、園見学や夏祭りの参加の際に口頭やアンケートで子育て支援のニーズを把握しています。また地域の子育て世代向けに育児相談の情報を園の入り口に掲示して、食事のアレルギーのことや離乳食などの相談を受ける体制を整えています。近隣でのいも掘り活動などを実施しています。今後は育児講座の開設や子育て情報誌の発行、園庭や保育室の開放、遊具や絵本を充実し出前保育の実施、多世代交流の実施などが期待されます。</p>

横浜市福祉サービス第三者評価 分類別結果

評価領域 I 利用者(子ども本人)の尊重

評価分類 I-1 保育方針の共通理解と全体的な計画等の作成

評価項目 I-1-1(1)

保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育の理念や基本方針が子ども本人を尊重したものとなっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 全職員が基本方針を理解している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 【追加項目】保育の理念や基本方針が明文化され、保護者にも周知されている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目 I-1-1(2)

保育課程は、保育の基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一義にして作成されているか。




判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 全体的な計画は子どもの最善の利益を第一義にしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育の基本方針や家庭の状況、地域の実態、周囲の環境を考慮して作成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 全体的な計画の作成にあたっては、全職員が関わっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 全体的な計画は、入園時や年度当初には必ず保護者に説明している。また、改定した時には随時保護者に説明している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-1-1(3)

日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育計画に基づき、年齢ごとに指導計画を作成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 理解できる子どもには、必要なことをきちんと説明し、納得できることを大切にしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 態度・表情などから子どもの意思を汲み取り、言語化できる子どもからは意見・要望を聞いている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの意見・意思を指導計画の見直しに生かし、子どもの自主性や主体性を育て、発揮できるような指導計画となっており、計画には柔軟性を持たせている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類 I-1 評価の理由(コメント)

評価理由(コメント)	評価
<p>理念や方針は子どもを尊重し、職員一人一人に徹底するよう掲示やチェックをしています。</p> <p>保育理念や方針は、「養護と教育を両輪とし子どもの育ちの力を伸ばし、主体的な活動を援助します」(要約)とし、子どもを尊重しています。園内に掲示し、職員との面談の際に、面談シートのチェック項目で確認し、理念や方針に沿う保育を図っています。保護者全員が参加する重要事項説明会で説明しています。理念や方針を基本に、保育の各計画を作成し、子どもを尊重した保育を行っています。</p>	
<p>子どもの人権を第一に考え、全体的な計画を策定しています。</p> <p>子どもの最善の利益とは何かを考え、人権を第一に全体的な計画を園長が作成し、職員に説明し同意を得ています。全体的な計画は、運営会社(以下、「法人」という。)の養育と教育を踏まえた計画を基本にし、園児の家庭状況や地域の環境を踏まえて作成しています。野菜の栽培を通じた食育活動や支援が必要な子どもや保護者に対する配慮を織り込んでいます。計画は、各クラスに配置するとともに、事務室や事務室前に掲示し、職員及び保護者が閲覧できるようにしています。</p>	  
<p>子どもの気持ちや要望を把握し、指導計画に反映させています。</p> <p>全体的な計画に基づき、各月齢・年齢の子どもの発達や姿を把握し、年齢ごとに年間、月間、週案、日案と連続性を持たせた指導計画を作成しています。乳児では子どもの表情やしぐさから気持ちや意思を読み取り、個々の発達に合わせて説明したり、計画に反映させています。言葉を使い表現できる子どもには、遊びや活動への意見や要望を聞き、計画に取り入れています。</p>	

評価分類 I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施

評価項目 I-2-1(1)

入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者と面接している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの様子をよく観察している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 入園までの生育歴や家庭での状況を把握している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 面接時に把握された記録は、日々の保育に生かされている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-2-1(2)

新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 短縮保育(ならし保育)が必要な場合は保護者への説明を十分行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 0、1歳の新入園児に対しては個別に主担当保育者が決まっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもが心理的抛り所とする物の持ち込みができる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの生活の連続性の視点から、保護者へのていねいな連絡をノートで行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 在園児への配慮がなされている。	
B	Aの中でいずれか3つは該当する。	
C	Aの中で1～2つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-2-1(3)

子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの発達や状況に応じて指導計画の作成・評価・見直しを行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 評価、改訂にあたっては、複数の職員が参画して作成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 評価、改訂にあたっては、保護者の意向も反映している。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目 I-2-1(4)

【新規項目】乳児保育(0歳児)において、適切な環境を整備し、生活や遊びが充実するよう配慮しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの表情や喃語(乳児のまだ言葉にならない声)等に適切な対応をし、応答的な関わりをしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育士等が愛情豊かに受容し、一人一人の生理的・心理的欲求を満たし心地よく生活できるようにしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 一人一人の発育に応じて、はう、立つ、歩くなど、十分に体を動かせるようにしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 身近な生活用品、玩具や絵本などが用意され、興味や好奇心が育つようにしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者と連携を図り、保育に生かしている。	
B	Aの中でいずれか3つは該当する。	
C	Aの中で1～2つ該当する、または全く行っていない。	




評価項目 I-2-1(5)

【新規項目】1歳以上3歳未満児の保育において、適切な環境を整備し、生活や遊びが充実するよう配慮しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 自分でしようとする気持ちを大切に、見守ったり、受け止めたり、応答的な対応をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 体の状態、機嫌、食欲などの日常の状態の観察を十分に行い、子どもに合わせた対応をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 一人一人の発育に応じて走る、跳ぶ、登る、押す、引っ張るなど、全身を使う遊びが楽しめるようにしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 探索活動が十分できるよう、活動しやすい環境を整えている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育士等が、友達との関わりの仲立ちをしている。	
B	Aの中でいずれか3つは該当する。	
C	Aの中で1～2つ該当する、または全く行っていない。	

【新規項目】 3歳以上児の保育において、適切な環境を整備し、生活や遊びが充実するよう配慮しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 3歳児の保育では、集団の中で安定して、遊びを中心とした興味関心のある活動を行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 4歳児の保育では、集団の中で自分の力を発揮し、友達とともに楽しめるよう遊びや活動を行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 5歳児の保育では、集団の中で一人一人の個性が生かされ友達と協力して一つのことをやり遂げるような遊びや活動を行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> いろいろな遊びの中で十分に体を動かすことができるようにしている。	
B	Aの中でいずれか3つは該当する。	
C	Aの中で1～2つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類 I-2 評価の理由(コメント)	評価
<p>保護者や子どもと面談し発達や生活状況を把握し、保育に反映しています。</p> <p>入園前の保護者との面談は子どもも一緒に来園してもらい、子どもが遊ぶ様子、他児や保護者との関わり、表情やしぐさを観察しています。前年度のクラス担任が面談し保護者が事前に記入した子どもの成育歴や健康状況、生活習慣等の文書を確認します。また、新たに聞き取った事柄や保護者からの質問や要望を面談記録に記載しています。生活歴等の書面と面談記録を纏めてファイルし、各クラスに配布し、職員が保育に反映しています。</p>	  
<p>新入園児には慣らし保育を実施し不安を軽減する取り組みをしています。</p> <p>入園説明会や個別面談で、無理なく集団生活に入れるよう慣らし保育を行っていることを説明しています。慣らし保育は、園での子どもの様子を見ながら保護者と担任が連携し進めます。新入園児に対する主担当職員は各クラスの担任間で決めています。子どもがよりどころとする物の持ち込みは、保護者と相談しながら受け入れています。在園児へも新しい環境になれる不安があり、寄り添う支援に努めるとともに、安心できるような環境を工夫しています。</p>	
<p>日々の保育から子どもの発達や姿を捉え、指導計画に反映しています。</p> <p>各クラス担任が年間、月間、週案、日案と指導計画を作成し、保育実施後は日誌に記録し、見直しや反省を行っています。担任間で日々成長する一人一人の子どもの生活状況や特性を話し合い、計画につなげています。連絡帳や送迎時に寄せられる保護者の意見や要望を計画に反映しています。作成された計画は園長の確認・承認後、「指導計画ファイル」に綴じ、職員だれもが見ることができません。</p>	
<p>子どもの発達段階に応じ生活習慣の修得や体力・知力を育む保育を行っています。</p> <p>0歳児は一人一人に寄り添い、ほめることやスキンシップを図りながら愛情をこめて接しています。好奇心の旺盛な時期でもあり、個々の発達に合わせて保育スペースや配置を工夫しています。1～3歳までは自分でしようとする気持ちを大切に、衣服の着脱ができたらほめ、達成感を味わえるよう配慮しています。友だちに興味を覚えてくるので、上手に関われるよう援助しています。3歳以上は、集団の中で友だちと協力する活動や体力・知力づくりに取り組んでいます。</p>	

評価分類 I-3 快適な保育園環境の確保

評価項目 I-3-1

子どもが快適に過ごせるような環境(清潔さ、採光、換気、照明等)への配慮がなされているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育園の屋内・外とも、常に清潔に保たれている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 通風・換気等が確保され、気になる臭いを取り除く工夫をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育園内の温・湿度の管理が日々適切に行われている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 陽光を十分取り入れるよう配慮している。	
<input checked="" type="checkbox"/> 音楽や保育者の声などが騒音にならないよう、配慮している。		
B	Aの中でいずれか3つは該当する。	
C	Aの中で1~2つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-3-2




沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 沐浴設備がある(ただし、0歳児保育実施保育園)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 温水シャワーの設備がある。	
<input checked="" type="checkbox"/> 沐浴・温水シャワー等の設備の管理や清掃が十分に行われている。		
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目 I-3-3

子どもの発達に応じた環境が確保されているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	B
	<input type="checkbox"/> 低年齢児には、小集団保育が行われるよう、保育室の使い方を工夫している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 食べる・寝るなどの機能別の空間を確保している。	
<input checked="" type="checkbox"/> 屋内に異年齢児間の交流の場がある。		
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類 I-3 評価の理由(コメント)	評価
<p>新しい園舎、清潔な保育室、彩光、温・湿度を適正に管理しています。</p> <p>園内・園庭ともに清潔に維持しています。1日数回職員が各保育室を清掃し、共用部分は当番制で掃除し、チェック表で確認しています。風通しもよく換気にも気を配っています。冬場は必要に応じ空気清浄機と加湿器を使用します。温・湿度は、子どもの視点で使用しています。住宅街に立地していることもあってカーテンを閉めることもあります。十分な彩光です。声の大きさを表にして、保育室や廊下に掲示し、職員のみでなく子どもへも分かりやすく伝えています。</p>	  
<p>沐浴室は0歳児室に隣接して設置し、体が汚れた時や夏のプール使用時に使用しています。使用後に次亜塩素酸希釈液で消毒しています。温水シャワーは沐浴室とシャワー室、園庭の3か所に設置しています。園庭のシャワーは、プールや泥んこ遊びの後に使用しています。温水シャワーは職員が使用前に湯に触れ、温度を必ず確認し、事故を起こさないよう努めています。</p>	
<p>広い保育室を活用した小集団のコーナー遊びの取り組みが期待されます。</p> <p>0~2歳児の保育室には、壁側に絵本や玩具類を配置しています。部屋の中央部を広く空けていて、子どもが落ち着いて遊べるブースやコーナーは設定していません。現状、子どもが自分で選択し遊びを楽しむコーナー保育を取り入れていません。3.4.5歳児の延長保育で異年齢交流を行っています。今後、コーナー保育や全園児を含む異年齢保育の計画的な取り組みを検討することが期待されます。</p>	

評価分類 I-4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力

評価項目 I-4-(1)



子ども一人一人の状況に応じて保育目標を設定し、それに応じた個別指導計画を作成しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	B
	<input checked="" type="checkbox"/> 0~1歳児については、個別指導計画を作成している。	
	<input type="checkbox"/> 幼児についても、特別な課題がある場合には、個別指導計画を作成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個別の目標・計画は定期的(月1回を目安)に見直すのみでなく、子どもの発達状況に合わせ、柔軟に変更・見直しを行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個別指導計画の作成・見直しにおいて、重要部分を保護者に説明し、同意を得ている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-4-(2)

子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか

判断基準		評価
A	Bに該当した上で、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもや家庭の個別の状況・要望を決められた書式に記録している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 入園後の子どもの成長発達記録がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの記録内容は全職員が共有できるしくみになっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 重要な申し送り事項が記録され、進級時等に伝達されている。	
B	保育所児童保育要録を小学校に送付している。その上で、Aの中で2つ以上に該当する。	
C	Aの中で1~2つ該当する。または、該当しない。	

評価分類 I-4 評価の理由(コメント)		評価
<p>一人一人の子どもの発達に合わせ個別指導計画を作成し、見直しています。</p> <p>0・1・2歳児は、クラス全体の計画と個別計画を作成しています。個別計画には、一人一人の子どものねらいを定め、保育内容、環境構成、保護者支援、当月の子どもの様子を記載し、見直しは子どもの発達状況に合わせ柔軟に行っています。配慮を要する幼児には、発達の状況や家庭の変化に応じ援助や指導を行っていますが、個別計画は作成していません。保護者に対し、連絡帳や送迎時の会話で子どもに関わる重要な部分を報告しています。</p>		 
<p>入園時や入園後の記録を整理し、個別ファイルにまとめ活用しています。</p> <p>子どもの記録として、児童票をはじめ、健康調査票、入園までの生活状況、緊急連絡票、個人面談記録、子どもや家庭の状況、成育歴、健康状況などの記録を管理しています。入園後は日々の日誌や健康診断、経過記録などを全て個別ファイルにまとめて保管しています。個別ファイルは、事務室の鍵付き書棚に保管し、職員はいつでも閲覧することができます。小学校入学に際し、進学する小学校へ保育所児童保育要録を送付しています。</p>		

評価分類 I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み

評価項目 I-5-1(1)

特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有化されているか。

判断基準		評価
A	<input checked="" type="checkbox"/> Bに該当した上で、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 個別のケースについて会議で話し合わせ、記録がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 最新の情報を職員間で学習し、保育に生かしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 共有する情報は記録され、いつでも確認できるようファイリングされている。	
B	特に配慮を要する子どもを積極的に受け入れる姿勢がある。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目 I-5-1(2)

障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。

判断基準		評価
A	<input checked="" type="checkbox"/> 次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> バリアフリーなど、障害児保育のための環境整備に配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者の同意を得て、医療機関や専門機関から助言や情報が得られる体制をとっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 障害の特性を考慮した個別指導計画が立てられている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 障害児保育について全職員で学習し、話し合える体制ができています。	
B	Aの中でいずれか3つは該当する。	
C	Aの中で1~2つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-5-1(3)

虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。

判断基準		評価
A	<input checked="" type="checkbox"/> 次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 虐待の定義が全職員に周知されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 虐待が明白になった場合に、関係機関に迅速に通告・相談する体制を整えている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 疑わしい場合や見守りが必要な場合は関係機関との連携をとっている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-5-1(4)




アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができていますか。

判断基準		評価
A	<input checked="" type="checkbox"/> 次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どものかかりつけ医の指示を受け、適切な対応を行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 全職員にアレルギー疾患についての必要な知識や情報が周知されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 食物アレルギーにおいては、保護者との連携を密にし、 除去食 を提供している。	
	除去食 を提供する場合は、誤食事故を防止するため専用トレイや専用食器、名札等を使用している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-5-1(5)

外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮がされているか。

判断基準		評価
A	<input checked="" type="checkbox"/> 次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 文化(言語・表現・食事)や生活習慣、考え方の違いを認め尊重している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 文化や生活習慣の違いを他の子どもたちが理解できるよう配慮している。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類 I-5 評価の理由(コメント)		評価
<p>特に配慮が必要な子どもについて、個別のケースとして課題、援助内容と方法を職員会議で話し合い、情報を共有しています。</p> <p>外部の人権研修や「気になるこども研修」を受講し、報告書の作成と合わせて、伝達研修を行うほか、ファイリングして職員全員に回覧しています。園内の設備はバリアフリーとしています。職員は、発達障害に関する研修に参加し、理解と意識を高めています。現状、職員配置の面から受け入れに課題があると見られます。</p>		  
<p>職員全員が虐待研修を受け、虐待に関する認識を深め、早期発見に努めています。</p> <p>「学研ガイドライン」を教本として、虐待に関する研修を園内で行っています。子どもの虐待とはをテーマとして、身体的・心理的・性的・ネグレクトの4種類、保育園の役割、虐待への対応とフォローのほか、虐待が明白になった場合の通報の仕組みについて研修しました。虐待の早期発見に努めるとともに、関係機関と連携しながら子どもを見守っています。送迎の際は、保護者に声をかけ、保護者の質問に答えるよう心がけています。</p>		
<p>食物アレルギーを持つ子どもの保護者と毎月面談し、除去食品を確認しています。</p> <p>食物アレルギーを持つ子どもの保護者に、半年ごとに「アレルギー疾患生活指導表」を提出してもらい、医師の指示書に基づいてアレルギーに対応しています。保育園はアレルギー食品を完全に除去しています。月半ばに次月の使用食材を記入した献立表を保護者に配付し、保護者と園長と担任が面談し、確認のうえ除去食品を決定しています。除去食を提供する際は、栄養士と担任、園長と担任がそれぞれ点検するダブル・チェック体制で、配膳は個別トレイや食器、名札などを確認し、職員が側に付き添って食事を摂っています。</p>		

評価分類 I-6 苦情解決体制

評価項目 I-6-(1)




保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。

判断基準		評価
A	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 第三者委員に、直接苦情を申し立てることができる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に対して、意見箱・懇談会・アンケート等で進んで要望や苦情を聞いている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 自分で意見を表明するのが困難な園児や保護者に対して具体的な配慮がなされている。	
B	要望・苦情を受け付ける担当者が決まっており、事前に保護者に説明されている。	
C	要望・苦情の受付窓口が明確にされていないなど、取り組みが不十分である。	

評価項目 I-6-(2)

要望や苦情等を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。

判断基準		評価
A	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 第三者委員を交えて対応する仕組みができています。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園単独で解決困難な場合には、外部の権利擁護機関や相談機関との連携体制がつけられている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要望や苦情の解決策が会議等を通じて職員に理解・周知されている。	
B	過去の苦情・トラブルや要望のデータを蓄積・整理し、解決に活かしている。	
B	要望や苦情を受け付け対応するためのマニュアル等文書化されたものが整備されている。	
C	マニュアル等文書化されたものが整備されておらず取り組みが不十分である。	

評価分類 I-6 評価の理由(コメント)		評価
<p>保護者の要望や苦情を迅速に解決する仕組みを整えています。</p> <p>苦情解決の流れを玄関や廊下に掲示しています。苦情受付担当者を決め、苦情解決責任者を園長としています。第三者委員に民生委員・児童委員と地域ボランティアの2人を委嘱し、名前と電話番号を明示しています。保護者へは重要事項説明書に記載し周知しています。意見箱を廊下に配置し、無記名で意見や要望を書いて出せるようにしています。運営委員会で保護者代表から意見や要望を聞いています。権利擁護機関として、神奈川県社会福祉協議会の権利擁護窓口を紹介しています。</p>		  
<p>苦情対応解決マニュアルを作成し、苦情や相談への迅速な対応に取り組んでいます。</p> <p>保護者の代表が出席する運営委員会を年2回開催し、意見や要望を聞くほか、意見交換を行っています。保育園単独で解決が困難な事案は、本部や系列園の神奈川ブロック園長会で解決を図っています。寄せられた要望や苦情の内容を職員会議などで職員に周知し、話し合い、解決策をまとめ取り組んでいます。過去の苦情やトラブルの関する記録類をファイルに綴じていて、保護者も閲覧することができます。</p>		

評価領域Ⅱ 保育の実施内容

評価分類Ⅱ－1 保育内容

[遊び]

評価項目Ⅱ－1－(1)

子どもが主体的に活動できる環境構成(おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど)ができているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	B
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもがおもちゃや教材等を自分で取り出して遊べるようになっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 年齢や発達にふさわしい環境構成に配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもがそれぞれ落ち着いて遊べる環境を確保している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ－1－(2)

遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの自由な発想を受け止め、それを集団活動に取り入れている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもがそれぞれ自由にごっこ遊びをしたり、落ち着いて一人で遊んだりしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 一斉活動は、みんなで一緒に遊ぶ楽しさとともに、友だち関係やルールを守る等の社会性を重視して、年齢に応じて取り入れている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ－1－(3)

動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 栽培や飼育を通して得られる体験を、保育活動にフィードバックしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもたちが散歩等で、日常的に地域の大人や子どもたちと挨拶・会話を交わしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園外活動で地域を知り、自然に触れる機会を積極的に設けている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ－1－(4)

子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの年齢や発達状況にあわせて自由に表現できるよう配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自発的に表現するよう様々な素材を用意するなど、自由に使えるよう配慮されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自由に歌ったり、絵を描いたりしている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ－1－(5)





遊びを通して子ども同士の関係や職員との関係が育つよう配慮しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子ども同士のけんか等については、危険のないよう見守りながら、子ども同士で解決ができるよう援助している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 異年齢の子ども同士が関わりを持てるよう配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員は、常に公平で温かい態度・言葉遣い等で子どもに接し、信頼関係を築いている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ－1－(6)

積極的な健康増進の工夫が遊びの中でなされているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 散歩や屋外活動などを積極的に取り入れている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 散歩や屋外活動などを行う際には、紫外線対策やアレルギーへの対処を行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 様々な遊びの中で、子どもの興味や関心、能力に応じて全身を使って楽しく活動できるよう工夫している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-1-1(1) [遊び] 評価の理由(コメント)	評価
<p>子どもの背丈に合わせた棚、取り出しやすい位置に玩具を用意しています。</p> <p>玩具や教材は、子どもの年齢に合った種類や安全面に配慮して用意しています。子どもの目線に合う位置に棚を取り付け、どこに何があるか、玩具の写真で分かりやすく示しています。玩具用の棚と絵本ラックは壁側に配置し、椅子や机が用意しています。保育室は、集団で使用するのに適した空間があり、年齢や発達段階にふさわしい遊具を揃えています。ところが、子どもが落ち着いて遊べるブースやコーナーは見当たりませんでした。今後の検討が期待されます。朝や夕方の延長保育では、子どもは好きなことをして遊んでいます。</p>	
<p>評価項目Ⅱ-1-1(2) [遊び] 評価の理由(コメント)</p>	
<p>子どもは絵本を見たり、ブロックを組み立てたり、ぬいぐるみで遊んだり、自由に楽しんでいます。</p> <p>絵本から子どもが発想し、ピーターパンを劇にしたり、夏野菜を育て野菜の本を読み、劇にして演じるなど子どもの発想から行事の出し物を決めています。乳児はおもちゃ棚から、自分の好きなものを取り出して遊び、3・4・5歳児はお医者さんごっこや、積み木、ブロックで電車や建物を組み立て楽しんでいました。毎日園庭での遊びを行い、鬼ごっこやドッチボールなどルールを決めたり、夏祭りのおみこしを共同で製作するなど友達と力を合わせています。砂場では一人一人が興味を持てるよう職員が援助しています。</p>	
<p>評価項目Ⅱ-1-1(3) [遊び] 評価の理由(コメント)</p>	
<p>夏野菜を育てたり、畑や孟宗竹林など地域の自然に触れています。</p> <p>広い園庭の周辺を畑にしており、夏は野菜や花の栽培、秋はサツマイモの収穫体験など、季節に合わせた取り組みをしています。種まきや苗植え、水やりや草取りを通して植物の成長を観察しています。収穫や皮むき、ひげ取り、調理を体験し、食育活動に繋がっています。園の周辺はロケット公園や岩のある公園、孟宗竹林、サトウキビ畑などに恵まれ、週に2回は散歩をしています。行きかう地域のひと職員が挨拶する姿を見て、子ども達も一緒に挨拶をしています。</p>	  
<p>評価項目Ⅱ-1-1(4) [遊び] 評価の理由(コメント)</p>	
<p>毎月の歌を歌ったり、リズムをしたり少しづつ成長しています。</p> <p>2歳児の部屋にはサツマイモ堀りをした体験をもとに子ども達のちぎり絵が掲示されていました。野菜が取れた時や運動会の後には体験をしたことを描いたり、粘土制作をしています。自由画帳や粘土、クレヨンが道具箱にあり、自由に絵や作品を描くなど自分の気持ちを表現しています。巧技台や鉄棒で体を動かしたり、スポーツチャンバラで体力づくりをしています。文字・数・言葉を楽しみながら覚える「もじ・かずランド」を毎月2回幼児に向けて行っています。</p>	
<p>評価項目Ⅱ-1-1(5) [遊び] 評価の理由(コメント)</p>	
<p>子どものトラブルを防ぐことや子どもへの接し方などについて職員は研鑽しています。</p> <p>子どものトラブルについて、発達や子どもの動きを職員間で把握し、立ち位置やかかわり方を念頭に置きながらトラブルを防ぐことに努めています。トラブルが起きた時には、観察しながら援助する時点を見極めていきます。乳児に対しては共感することを心がけ、幼児には、双方の話をよく聞き取り、時系列にして何処に原因があるかを自分たちが理解できるようにしています。職員は人権研修を行い、常に公平さや、温かい言葉かけをするようチェック表を使い振り返っています。4.5歳児は食事を一緒にしたり、延長保育の時間に異年齢の交流がありますが、計画的な取り組みは行われていません。</p>	
<p>評価項目Ⅱ-1-1(6) [遊び] 評価の理由(コメント)</p>	
<p>園庭遊びや散歩、スポーツチャンバラなど子どもの体を育てる取り組みを行っています。</p> <p>各保育室から広い園庭へすぐに出られるよう設計されています。天気の良い日は毎日、かけっこや氷鬼、ドッチボール、縄遊び、かんぼっくりなど子どもの興味に応じて園庭遊びが行われています。周辺は林や畑など自然豊かで、岩やロケットなど遊具のある多様な公園を利用し、健康増進を図っています。たれ付き帽子をかぶり、長袖を着用する子もおり、紫外線やアレルギーに配慮しています。健康状態のすぐれない子どもは静かに事務室で過ごしています。</p>	

[生活]

評価項目Ⅱ-1-(7)

食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員が、子どもの負担になるほどに残さず食べることを強制したり、偏食を直そうと叱ったりせずに、個人差を考慮しながら援助している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自分から食べようとする意欲や行動を大切にしながら、適切な言葉かけや援助をしている。*	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもたちが食事及びその過程(調理・配膳・片づけ)に関心を持つよう工夫している。*	
	<input checked="" type="checkbox"/> 【追加項目】野菜などの栽培や、様々な食材を目にしたり触れたりする機会を設け、調理員との関わりにも配慮している。	
<input checked="" type="checkbox"/> 乳児の授乳にあたっては、ほしがる時に、抱っこして声をかけながら与えるようにしている。※対象乳児がいない場合は、非該当		
<input checked="" type="checkbox"/> 授乳する時や離乳食を食べさせる時は、子どものペースを尊重している。※対象乳児がいない場合は、非該当		
B	Aの中でいずれか3つは該当する。*対象乳児がいない場合は2つ。	
C	Aの中で1~3つ該当する、または全く行っていない。*対象乳児がいない場合は、全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-1-(8)

食事の場、食材、食器等に配慮しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある献立や食欲がわくような盛りつけなどの食事作りに配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 食事の場としての雰囲気づくりに配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 食材や食器の安全性に配慮している。	
<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの成長・発達や用途に即した食器を使用している。		
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-1-(9)

子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に活かしているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの好き嫌いを把握し、盛り付けや調理方法を工夫している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 栄養士や調理担当者が、子どもたちの食事の様子を見る機会を設けている。	
<input checked="" type="checkbox"/> 残食を調査記録し、献立・調理の工夫に反映させている。		
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ-1-(10)

子どもの食生活について、家庭と連携しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 献立表を作成し、事前に配布している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 献立作成のポイントを明記した情報提供を行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 定期的にレシピを提示し、保護者に園で提供する食事に対する関心を促している。	
<input checked="" type="checkbox"/> 保護者が試食できる機会等を設けて、栄養・味付け・食べ方(噛み方)等、園で配慮していることを知らせている。		
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-1-(11)

午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。




判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 眠れない子ども、眠くない子どもには午睡を強要せず、静かに過ごさせるなど柔軟な対応をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 安心して心地よい眠りにつけるよう、午睡・休息の場を工夫している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児突然死症候群に対する対策を行っている	
<input checked="" type="checkbox"/> 年長児には適当な時期から午睡を一斉活動としていない。		
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-1-(12)

排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの排泄のリズムをとらえ、個人差を尊重している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> トイレトレーニングは一人ひとりの発達状況に応じて個別に対応している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園での排泄状況を保護者に伝え連携を密にしている。	
<input checked="" type="checkbox"/> おもらしをした子どもを激しく叱ったり、心を傷つけるような対応をしてはならないことを、全職員が認識している。		
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

【新規項目】長時間にわたる保育のための環境を整え、配慮した保育が行われているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 子どもの状態に応じ、ゆったりとくつろいで過ごすことができるよう、玩具やコーナーを工夫し環境を整えている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 2 保育時間の長い子どもに配慮した食事・おやつを提供している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 3 子どもの状況について、職員間の引き継ぎを適切に行い、子どもが安心して過ごせるようにしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 4 担任等子どもを担当する職員と保護者の連携が十分にとれるよう配慮している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	
評価項目Ⅱ-1-(7) [生活] 評価の理由(コメント)		評価
<p>無理強いせずに共感や興味を抱かせ、食事を楽しむ工夫をしています。 好き嫌いがあっても無理強いせずに楽しく食べられるように声掛けしたり、量を減らしたりして子どもが食べてみようかなと思う取り組みをしています。保護者と情報を共有し、ゆっくり少しずつ偏食をなくすよう連携しています。個々のペースや喫食状況を観察し「おいしいね。何が入っているかな」と共感や興味を抱かせるよう適切な言葉をかけています。言葉を発するのが難しい乳児でも「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶を職員と一緒に言い、食事のマナーを学んでいます。</p> <p>野菜の栽培、収穫、下ごしらえや調理を経験し、食育活動を充実させています。 夏にはオクラやナスの野菜の栽培をし、苗植えや水やり、草むしりを行い観察をして成長を見守り、収穫を楽しみました。野菜ちぎりや枝豆の豆とりなど下ごしらえを手伝い、調理をするなど食に対する興味や関心を深めています。収穫した野菜をスープに入れ、掘り起こしたサツマイモを蒸かし給食で食べています。配膳の仕方を写真やイラストで分かりやすくしています。授乳は家庭での生活リズムを尊重し望ましい時間にだっこしてゆったりとした気持ちで与えています。離乳食は子どものペースを把握し、家庭と連絡を取り合い進めています。</p>		
評価項目Ⅱ-1-(8) [生活] 評価の理由(コメント)		
<p>食事の雰囲気、新鮮な食材、食器の確認を毎回行い安全に最も注意を払っています。 旬の食材を使った季節を感じる献立や行事や誕生日会に相應しい献立にしています。子どもの日にはこいのぼりのちらしずし、ハロウィンではカボチャの形のご飯とお化けの形のハンバーグなど楽しい盛り付けの工夫をしています。テーブルの配置を変えたり、年1回家から持参のお弁当デー、他クラスと食べるなど変化のある取り組みをしています。地域の信頼できる店から肉や魚、野菜等を毎朝新鮮なものを届けてもらっています。食器類は安全性を確保するため、毎回栄養士、調理師が一つずつ確認しています。</p>		
評価項目Ⅱ-1-(9) [生活] 評価の理由(コメント)		
<p>子どもの喫食状況を確認し、献立の参考にし、変更を行っています。 給食会議を月1回開き喫食状況、食育について連絡、報告、相談をしています。栄養士と調理師が毎日各クラスを回り、喫食状況を確認しています。子どもとの会話で味付けの反応を見たり、担任からの感想や意見を聞いています。系列園の栄養士が集まり交替で2週サイクルの献立を立てています。残食の出る場合は味や食品の大きさや形を工夫し、ドレッシング味に変えたり、材料の変更を行うなど次回メニューの参考にしています。</p>		
評価項目Ⅱ-1-(10) [生活] 評価の理由(コメント)		
<p>給食だよりを発行し旬の食材や栄養素、レシピなどを載せ、食への関心を促しています。 月末に次月の献立表を保護者に配布しています。幼児食、乳児食、離乳食、延長保育の夕食と4種類あり、それぞれの対応クラスから配布しています。アレルギー児には保護者と事前に献立を確認し、献立予定表を渡しています。毎月「きゅうしょくだより」を発行し、旬の食材や栄養素、レシピを知らせています。子どもに人気の給食や季節の食材を使ったレシピを作成し、玄関前のサンプル給食の上に置いています。懇談会の際には保護者に向けて試食を行い、量や味の目安を教えるなど質問に答えています。</p>		 
評価項目Ⅱ-1-(11) [生活] 評価の理由(コメント)		
<p>1・2歳児には5・10分間隔で呼吸を確認し、乳幼児突然死症候群に対するチェックを行っています。 午睡前には職員が静かに本を読んだり体をトントンしたり眠りにつけるよう援助しています。室内のカーテンを引き、静かなオルゴールを流すクラスもあります。表情や呼吸が確認できるよう明るさを確保しています。午睡を強いることはなく、体を休め布団に横になるようにしています。5歳児には運動会後から午睡時間を徐々に短縮し、静かに活動をする時間になっています。子どもは午睡をしたり、体を休めたりしています。</p>		

評価項目Ⅱ-1-(12) [生活] 評価の理由(コメント)

排泄については個人差を尊重し、家庭と連携し無理なく進めています。
トイレトレーニングは、一斉に行うのではなく、子どもの発達や関心などを見極めながら、保護者と連絡を取り合い進めています。子どもの排せつリズムを捉え、個人差を尊重し無理なく進めています。調査日の2歳児のトイレトレーニングでは職員がトイレ室内で見守り、他職員が下着の着脱を手伝い、ズボンは自分ではしていました。お漏らしなど失敗しても、素早く処置し、否定的な言葉は使わないよう子どもの気持ちに配慮しています。

評価項目Ⅱ-1-(13) [生活] 評価の理由(コメント)

長時間保育では子どもの安全を重要と捉え一人一人に寄り添った保育をしています。
長時間、保育を受ける子どもへの体力や気力、活動状況は個人差があり、個々の状況に配慮した保育を行っています。安全への注意を第一と捉え、一人一人の動きを観察し、マットなどを敷きゆったりと過ごせるようにしています。好きなおもちゃや日ごろ使わない他クラスの玩具を遊べるようにしています。補食は降園時間が18時30分～19時の子どもに、夕食は降園時間が19時～20時の子どもに、いずれも18時30分に提供しています。伝達ノートと口頭で子どもの日中の活動や様子を保育者間で引継ぎ、お迎え時の保護者にもれなく伝えています。

評価分類Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理

[健康管理]

評価項目Ⅱ－２－(1)

子どもの健康管理は、適切に実施されているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの健康状態を把握している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 既往症について常に保護者から情報を得られるように努め、対応を関係する職員に周知している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて園での子どもの健康状態を保護者に伝え、降園後の対応について話し合っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 食後の歯磨き指導を行っている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ－２－(2)

健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させているか。




判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの健康診断・歯科健診の記録がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝え、連携を密にしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 健診結果に基づき、嘱託医やかかりつけ医との連携を図っている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ－２－(3)

感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。

判断基準		評価
A	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 登園停止基準や保育中に感染症等の疑いが生じた場合の対応がマニュアルに明記され、保護者に周知している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育中に発症した時は、保護者への連絡をすみやかにし、対応については保護者の事情も考慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 感染症が発生した時は、速やかに保護者に情報提供している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 感染症に関する最新情報を職員が共有している。	
B	<input checked="" type="checkbox"/> 感染症等への対応に関するマニュアルがある。	
C	感染症等への対応に関するマニュアルがなく、取り組みが不十分である。	

評価分類Ⅱ－２ [健康管理] 評価の理由(コメント)

評価理由(コメント)	評価
<p>子どもの健康管理について重要事項説明書で説明しています。</p> <p>重要事項説明書には子どもの保健・健康に関する項目があり、子どもの体調管理、嘔吐・下痢、健康診断、予防接種、乳幼児突然死症候群、与薬など健康管理に関する内容が整理されています。入園時には成育歴や既往症などについて保護者が記載した健康調査票を提出してもらっています。保育中に熱や嘔吐などがあつた場合には状況を見ながら保護者に伝え、お迎えについて連絡しています。歯磨きは2歳後半から指導しています。</p>	
<p>健康診断・歯科健診・身体測定を定期的に行い、保育に反映しています。</p> <p>健康診断は嘱託医が年2回実施し、結果は健康カードに記載し、保護者に知らせています。歯科健診は年1回の実施で結果は「健診結果」に記載しています。また、ブラッシング不足など予防についても歯科医が一筆添えたものを保護者に渡しています。毎月身長と体重を園で測定し、健康カードで保護者に伝えていきます。健康診断時や感染症が発生した時には嘱託医に地域の発生・流行状況を聞いたり、子どもの怪我や病気の対応について相談しています。</p>	  
<p>学校感染症の出席停止基準を重要事項説明会で説明しています。</p> <p>感染症が疑われる時は、熱や嘔吐、下痢などの症状により保護者に早めに連絡し、保護者がお迎えの体制が取れるよう配慮しています。また、病気名及びその基礎知識や発生件数、クラス名をホワイトボードに記入し事務所に掲示しています。感染症に関する最新情報は「伝達ノート」に記載し、事務室に常備していて、職員は必ず読んでいます。</p>	

[衛生管理]

評価項目Ⅱ-2-(4)

衛生管理が適切に行われているか。

判断基準		評価
A	<input type="checkbox"/>	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。
	<input checked="" type="checkbox"/>	マニュアルは、職員参加により定期的(内容により異なるが、最低年1回を目安)に見直しを行っている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	マニュアルの内容を全職員が共有するため、定期的(採用時に1回、採用後は最低年1回)に研修を実施するなど、具体策を講じている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	マニュアルに基づき清掃等が行われ、清潔・適切な状態が保たれている。
B	<input checked="" type="checkbox"/>	衛生管理に関するマニュアルがある。
C	<input type="checkbox"/>	衛生管理に関するマニュアルがなく、取り組みが不十分である。

評価分類Ⅱ-2 [衛生管理] 評価の理由(コメント)	評価
<p>看護師による嘔吐処理の研修を行ったり、清掃チェック表で確認し、清潔を保持しています。 「運営ガイドライン」の感染症マニュアルを研修し、活用しています。マニュアルは法人のガイドライン委員会が作成し、職員からの提案で毎年見直しを行っています。看護師が講師になり、嘔吐処理について全員が研修を受け、手洗い、嘔吐処理の方法を保育室内に掲示しています。玩具の消毒や布団乾燥を定期的に行い、清潔に使用できるようにしています。園内の保育室や共用部分は毎日清掃しており、清掃点検表を用いてチェックし、保育園全体をを清潔に維持しています。</p>	A

[安全管理]

評価項目Ⅱ-2-(5)

安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。

判断基準		評価
	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
<input checked="" type="checkbox"/>	【追加項目】睡眠中、プール活動、水遊び中、食事中等の場面で重大事故が発生しやすいことを理解し、子どもの主体的な活動を大切にしつつ対策を講じている。	
<input checked="" type="checkbox"/>	地震等を想定し、備品等の転倒防止など安全対策を講じている。	
<input checked="" type="checkbox"/>	マニュアルは、事故や災害に適切に対応しており、全職員に周知されている。	
<input checked="" type="checkbox"/>	緊急連絡体制が確立している。	
<input checked="" type="checkbox"/>	通報や連絡体制の予行演習、地域の避難場所等への誘導などの訓練を実施している。	
<input checked="" type="checkbox"/>	職員が救急救命法を身につけている。	
B	<input checked="" type="checkbox"/> 安全管理に関するマニュアルがあり、Aの中で3つ以上該当する。	
C	安全管理に関するマニュアルがない。または、Aの中で1~3つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-2-(6)

事故や怪我の発生時及び事後の対応体制が確立しているか。

判断基準		評価
	次の全てに該当する。	A
<input checked="" type="checkbox"/>	保護者や救急機関、地域への連絡体制が確立している。	
<input checked="" type="checkbox"/>	子どものケガについては、軽傷であっても必ず保護者に状況を報告し、記録している。	
<input checked="" type="checkbox"/>	職員会議などで事故の報告、再発防止策の検討が行われ改善策が実行されている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ-2-(7)

外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。

判断基準		評価
	次の全てに該当する。	A
<input checked="" type="checkbox"/>	不審者等の侵入防止策(出入り口の施錠等)が講じられている。	
<input checked="" type="checkbox"/>	不審者等に対する緊急通報体制が確立されている。	
<input checked="" type="checkbox"/>	不審者の情報が関係機関、近隣住民等から得られるネットワークができています。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類Ⅱ-2 [安全管理] 評価の理由(コメント)

評価
<p>危機管理や事故対応について研修を行い、安全に配慮した保育を行っています。 夏のプール開き前にはプールマニュアルを用い、職員会議でプール時や水遊びへの対応と注意について話し合いを行っています。睡眠や食中毒についても常に安全に配慮した保育を行っています。保育室の家具はジェルシートで固定し、地震への対策を講じています。事故や災害に備え、「危機管理や事故・怪我対応」について研修しています。毎月避難訓練を実施し振り返りを行い、次月に活かしています。災害時の避難先を重要事項説明書に記載しており、緊急時には園から連絡する旨を保護者に伝えています。</p>
<p>ケガや事故が発生した時は、速やかに保護者へ連絡し、対応しています。 消防署や行政など関係機関や医療機関の一覧表を事務所に掲示しています。ケガや病気は、すぐに園長に報告し、軽傷であっても保護者に連絡しています。会議で事故報告について振り返り、原因や改善策について話し合い、怪我報告書に経緯や保護者への謝罪、原因等が記載されています。ケガ報告書を全職員に回覧し、周知を図っています。系列園で起きた事故に関して園長会で情報を共有し、職員に周知し、事故防止に努めています。</p>
<p>登降園時に使用する門の開錠時間帯への対策が必要と思われます。 保育園を囲む3面は柵があり、入り口は玄関と駐車場側入り口の2か所です。玄関は施錠されており、訪問者にはインターホンで応じています。駐車場側の入り口は、電子錠とキーチェーンで2重に施錠(登降園の時間帯は電子錠で施錠)しています。不審者訓練は年1回実施し、通報体制は防災訓練と同様になっています。不審者情報が区役所から通知された時は、職員間で共有し、保護者へは口頭や玄関のホワイトボードで知らせています。</p>



評価分類Ⅱ-3 人権の尊重

評価項目Ⅱ-3-(1)

保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもに対して威圧的な言葉遣い、無視が行われないよう、職員間で相互に配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> せかしたり強制したりせず、おだやかに分かりやすい言葉で話している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの気持ちや発言を受け入れられるよう配慮している。	
B	Aの中でいずれか2つ該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-3-(2)

必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 友だちや職員の視線を意識せず過ごせる場所がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて、子どもに威圧感を与えず一対一で話し合える場所がある。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ-3-(3)

個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。




判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 守秘義務の意義や目的を全職員(ボランティア・実習生含む)に周知している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の取り扱いについてガイドラインをつくり、全職員に周知している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の取り扱いについて、保護者に説明し了解を得ている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-3-(4)

性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 遊びや行事の役割、持ち物、服装などで性別による区別をしていない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 順番、グループ分け、整列など性別にしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもや保護者に対して、父親・母親の役割を固定的にとらえた話し方、表現をしないようにしている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類Ⅱ-3 評価の理由(コメント)

評価理由(コメント)	評価
<p>人権マニュアルや言葉かけNG集で子どもの人格を尊重した、自尊心を傷つけない保育を心がけています。</p> <p>人権マニュアルを参考に職員会議で、子どもの人格を尊重する言葉づかいを話し合っています。例えば、「走らない」と否定的に言うのではなく、「ゆっくり歩こうね」と言うようにしています。ゆとりを持った活動計画を立て、せかすことのないようにしています。子どもの発達に応じた分かりやすい言葉を使うようにしています。子どもが気持ちを伝えられるよう事務室でおだやかに話すことにより、高ぶった気持ちをクールダウンさせることを心がけています。</p>	  
<p>事務室や相談室、トイレがプライバシーを守れる空間となっています。</p> <p>友達や職員の視線を意識しないで過ごせる場所として、事務室や相談室(空き室)を用意しています。衣服が汚れて着替える時や職員とゆっくり関わりたい時に利用しています。子どもによってはトイレがホットする場所になっています。2歳児のトイレにはドアがついていませんが、3・4・5歳児用トイレのすべてにドアを取り付け、プライバシー保護に配慮しています。</p>	
<p>個人情報保護について、入園時、保護者に重要事項説明書などにより説明し、個人情報の使用に関する承諾を得ています。</p> <p>職員には、守秘義務について、個人情報保護マニュアルやコンプライアンスコードにより、連絡会議や職員会議で周知しています。職員は、遊びや当番活動の中で性別による区別をしないよう心がけています。役割を固定化しないよう、例えばクッキングは母親、掃除は父親と分けず、全員が同じように参加できるよう配慮しています。職員会議などで、人権マニュアルを使って性差による固定観念で保育をしていないかを振り返っています。</p>	

評価分類Ⅱ－４ 保護者との交流・連携

評価項目Ⅱ－４－(1)

保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に対しては、全体会または懇談会などで説明する機会を設けている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に対して、園独自のアンケートなどで保育方針が理解されているかどうか把握している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 日常保育の中で、園だよりや連絡帳などで保育方針が理解されるよう努力している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ－４－(2)

個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの送迎時に、その日の子どもの様子を伝えるよう配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 連絡帳やメールなどできめ細かに情報交換を実施している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者の意向を踏まえて個別面談を実施している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ－４－(3)

保護者の相談に応じているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 相談内容などを人に聞かれないで相談できるよう、配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 相談を受けた職員が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制になっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 相談は記録し、継続的なフォローができています。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ－４－(4)

保育内容(行事を含む)など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 「園だより」など定期的に発行している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園内に、その日の保育の様子を知らせる情報を掲示している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> クラスごとの保護者懇談会などで、保育内容・目的を分かりやすく説明し情報提供を図っている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ－４－(5)




保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 年間行事予定であらかじめ日時を知らせ、保護者が保育参加のための休暇等の予定を立てやすくしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育参観または保育参加を積極的に受け入れている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ－４－(6)

保護者の自主的な活動への援助や意見交換を行っているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	B
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者が自主的な活動をできるように場所等の提供をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者の活動に要請があれば職員も参加をしている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類Ⅱ-4 評価の理由(コメント)	評価
<p>保育の基本方針を入園時の説明会やクラス懇談会で重要事項説明書で説明しています。 今後、園だよりや連絡帳に保育方針を記載し、保護者の一層の理解を得ることが望まれます。子どもの送迎時に一日の様子や怪我等の有無、伝達事項を簡単に伝えています。0～2歳児クラスの子どもの様子は、個別に連絡帳を使って、伝え合っています。3～5歳児の幼児クラスは、おたより帳のフリースペースを使い、保護者と情報交換をしています。保護者の意向を踏まえて個人面談や懇談会を実施しています。</p>	
<p>保護者との面談では、他の人に聞かれないで相談できるよう相談室(空いた保育室)を用意しています。 保護者との面談時間を職員にも知らせ、他の保護者や職員が立ち入らないよう配慮しています。相談内容が外部に漏れないよう扉を閉め、声の大きさにも気を配っています。職員が受けた相談内容を園長と共有し、最終的に園長が同席、助言をしています。園だよりやクラスだよりを毎月発行し、子どもの園生活の情報を提供しています。玄関内に、当日の出来事を文章や絵、写真にして掲示していて、保護者に好評です。</p>	  
<p>保護者の意向を考慮し、運動会の実施日などは年度末に行事予定表を配布しています。 保育参観や保育参加を勧めていて、参加できなかった保護者には、口頭や手紙を出して丁寧に内容を伝えています。保護者の自主的な活動に対し、要望があれば場所等の提供をしています。今年度は保護者からの申し出である、卒園後の謝恩会の話があり、要請があれば園長や保育者が参加する予定になっています。保護者組織は現在存在しておりません。</p>	

評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類Ⅲ-1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供

評価項目Ⅲ-1-1(1)



地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域の保護者や子ども等との交流の中で、保育所に対する要望を把握するための具体策を講じている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域の保護者等住民に対する相談事業を通じて把握している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて関係機関や他保育園との検討会・研究会を行っている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅲ-1-1(2)

地域の子育て支援ニーズに応じて保育園の専門性を生かしたサービスを提供しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	B
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域の子育て支援ニーズについて、定期的(年に1回程度)に職員間で話し合われている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域での子育てを支援するためのサービス(一時保育、交流保育、園庭開放等)を提供している。	
	<input type="checkbox"/> 地域の保護者や子ども等に向けて子育てや保育に関する講習・研修会を開催している。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類Ⅲ-1 評価の理由(コメント)		評価
<p>園見学や夏祭り、区の園長会で地域の子育て支援ニーズを把握しています。</p> <p>保護者が園見学や夏祭りに参加した際に、口頭やアンケートで、保育園に対する要望や意見を聞いています。地域の子育て世代への相談はこれからですが、園見学の保護者の育児相談を実施しています。地域等住民に対する園庭開放を計画しています。年3回開催される、区の園長会で幼保小の交流等を話し合い情報を共有しています。区とは地域の子育て支援ニーズについて連携を取っていますが、一時保育の実施について検討を依頼されています。</p>		 
<p>保育園の専門性を生かし、地域の在宅子育て家庭に対する育児講座などが期待されます。</p> <p>区園長会で情報として得られた地域の子育て支援ニーズについて、職員会議で話し合い、求められている支援、例えば一時保育の実施や場所の提供等について検討しています。地域の子育てを支援するためのサービスは園単独では行っていませんが、ブロック内の保育園が集合して交流保育を実施しています。10月に5歳児が交流のため小学校に行っています。</p>		

評価分類Ⅲ-2 保育園の専門性を生かした相談機能

評価項目Ⅲ-2-1(1)




地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。

判断基準		評価
A	<input type="checkbox"/> 次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 情報提供や育児相談を実施している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 育児相談については、定期的(最低週に1回)に相談日を設けて対応している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園からのお知らせを地域に回覧するなどして、情報提供に努めている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅲ-2-1(2)

相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。

判断基準		評価
A	<input type="checkbox"/> 次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要な関係機関・地域の団体等をリスト化する等により情報を職員が共有している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 関係機関との連携の担当者が決められている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 関係機関・団体等との日常的な連携ができています。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類Ⅲ-2 評価の理由(コメント)		評価
<p>地域の子育て世代向けに育児相談の情報を園の入口に掲示し、情報を提供しています。</p> <p>掲示の内容は食事のアレルギーや病気のこと、離乳食等についての相談です。区の保育園一覧には、園からのお知らせとして、園の概要や年間行事、例えば運動会や夏祭り、プール開き、クリスマス発表会などについて、掲載しています。ブログでは食事について、給食は園内の調理室で栄養士または調理師が直接作っていることや捕食・夕食の提供、アレルギー対策等について掲載しています。</p>		  
<p>区役所の子育て支援課や公共保育園、近隣医療機関などの連絡先をリスト化し、電話機の傍に掲示しています。</p> <p>関係機関との連携が必要な時は最初に園長に相談し、その後に連絡することになっています。特に支援を必要とする家庭について、区役所の子育て支援課と連絡するなど、より良い対応がとれるようにしています。</p>		

評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類Ⅳ－1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ

評価項目Ⅳ－1－(1)

保育園に対する理解促進のための取り組みを行っているか。




判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 園の行事に地域の保護者や子ども等を招待している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 自治会・町内会、ボランティアグループ等と協力して行事を行うなど、地域の団体、機関と定期的(年1回以上)、計画的に交流を図っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 小中高等学校など、学校教育との連携を積極的に図っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域への保育園開放や備品等の貸し出しを行っている。	
B	Aの中でいずれか3つは該当する。	
C	Aの中で1～2つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅳ－1－(2)

子どもと地域との日常的な交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域の文化・レクリエーション保育園等を利用している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に地域の人達と接する機会(散歩・買い物等)に積極的に交流を図っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に他の園・学校・福祉保育園等との交流を図っている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類Ⅳ－1 評価の理由(コメント)

評価理由(コメント)	評価
<p>夏祭り等の行事には、入園希望者や卒園児にポスターや手紙を出して、招待しています。</p> <p>子どもの祖父母を交えての運動会は園庭ではなく、広い近隣の小学校の体育館を借りて行っており、一家族で7人の参加がありました。仲良しになった近隣の住民の畑を借り、いも掘りなどを行い自然に触れた保育をしています。近隣と友好を保つために積極的に挨拶し、園周りの掃除を行っています。地域との関わりとして、絵本や放送機器(アンプ・キーボードなど)の貸し出しを検討しています。</p>	  
<p>ズーラシア動物園や植物園を遠足で利用したり、近所のお店でおやつなどを購入したり、地域との交流を深めています。</p> <p>5歳児は花やピーマンなどの苗を買い、園庭に植え、育て、大きくなったものを食べるなど食育に取り組んでいます。5歳児は小学校へ出かけ小学生と交流し、入学前の準備をしています。地域にある特別支援学校へ出かけ、行事に参加し交流を深めていくことを検討しています。</p>	

評価分類Ⅳ－２ 保育所における福祉サービスに関する情報提供

評価項目Ⅳ－２－(1)




将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 園のパンフレット・広報誌・ホームページ等により、地域や関係機関に随時、情報を提供している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 外部の情報提供媒体に対して園の情報を提供している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園として、すすんで福祉サービス内容の詳細、料金、職員体制等、必要な情報を提供している。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅳ－２－(2)

利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。

判断基準		評価
A	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 園の基本方針や利用条件・サービス内容等についての問い合わせに対しては、常時対応できるようになっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 利用希望者に見学ができることを案内している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育に支障をきたさない範囲で、曜日や時間は見学希望者の都合に対応している。	
B	園の基本方針や利用条件・サービス内容等について、パンフレット等の資料や文書に基づいて説明している。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類Ⅳ－２ 評価の理由(コメント)		評価
<p>パンフレットやホームページなどで保育園の情報を地域や関係機関に提供しています。 区役所にパンフレットを置き、区のホームページに園の情報を提供しています。ホームページには園の概要や年間行事予定、よくある質問の回答として食事や園庭、保育内容などを掲載しています。重要事項説明書に、運営主体や基本理念、建物設備、職員体制、利用料金及び支払い方法、提供する保育・教育の内容、保護者が用意するもののリスト等詳細に必要な情報を記載、提供しています。</p>		  
<p>見学は、午前中の子供たちの活動時間帯(10時頃)としながらも、見学者の都合によって午後や土曜日にも受け入れています。 パンフレットや重要事項説明書を用意し、主として園長が対応します。見学と併せて、保育園の基本方針や利用条件、保育内容などを説明しています。見学に関する情報は、区の保育所一覧に掲載されています。見学の希望があった時は見学受付表に見学希望日や時間、見学希望者の氏名、電話番号などを記載しています。</p>		

評価分類Ⅳ－3 ボランティア・実習の受け入れ

評価項目Ⅳ－3－(1)





ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。

判断基準		評価
A	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 受け入れにあたり、あらかじめ職員や利用者に必要な考え方・方針が理解されるよう説明している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 受け入れと育成の担当者が決められており、受け入れ時の記録が整備されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティアの感想や意見を園運営に反映させている。	
B	受け入れのためのマニュアル等があり、それに基づきボランティアに対して園の方針、利用者への配慮等を十分説明している。	
C	受け入れのためのマニュアル等がなく、取り組みが不十分である。	

評価項目Ⅳ－3－(2)

実習生の受け入れを適切に行っているか。

判断基準		評価
A	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 受け入れにあたり、あらかじめ職員や利用者に必要な考え方・方針が理解されるよう説明している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 受け入れのための担当者が決められており、受け入れ時の記録が整備されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 実習目的に応じた効果的な実習が行われるためにプログラム等を工夫している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 実習生と職員との意見交換の機会を設けている。	
B	受け入れのためのマニュアル等があり、それに基づき実習生に対して園の方針、利用者への配慮等を十分説明している。	
C	受け入れのためのマニュアル等がなく、取り組みが不十分である。	

評価分類Ⅳ－3 評価の理由(コメント)		評価
<p>ボランティアの受け入れに際し、マニュアルの内容を職員会議で職員同士が確認しています。 保護者には受け入れについての情報をホワイトボードで掲示して知らせています。ボランティア担当者は受け入れと育成について、園長と相談しながら進めています。ボランティアの一日は9時のオリエンテーションから始まり、保育参加、おもちゃの消毒、絵本の修理、14時頃に感想の報告書を作成しています。職員はその報告書を保育に反映させるように心がけています。</p>		  
<p>実習生受け入れのマニュアルを用意し、個々の実習生に合ったプログラムを作成しています。 実習生の受け入れに際し、職員会議で受け入れのマニュアルの内容を確認することになっています。保護者には、ホワイトボードで実習生が来ることを知らせます。実習生を受け入れる場合、実習生担当者が受入と育成について園長と相談しながら進めることにしています。実習プログラムは、学校からの実習目的や課題などを踏まえ、実習生のニーズに合わせて作成しています。実習生からの意見を聞き、保育に生かすようにしています。</p>		

評価領域 V 人材育成・援助技術の向上

評価分類 V-1 職員の人材育成

評価項目 V-1-(1)

保育所の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育所運営に十分な人材構成であるかをチェックし、必要な人材の補充を逐次行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育所の理念・方針を踏まえた保育を実施するよう、人材育成の計画が策定されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 【追加項目】保育所の保育の課題や職員のキャリアパスも見据えて、体系的な研修計画が作成されている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 V-1-(2)

職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか

判断基準		評価
A	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 内部研修が定期的実施され、職員・非常勤職員とも必要な職員が必ず受講できる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園外の研修会、大会等への参加、他の福祉保育園での実地研修等が特定の職員に偏ることなく積極的に行われている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 研修の成果を職場で生かすための工夫がされている。	
B	<input checked="" type="checkbox"/> 研修の成果を評価して、研修内容を常に見直している。	
B	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の研修ニーズにも配慮し、研修担当者が研修計画を作成している。	
C	園としての研修計画を作成しておらず、取り組みが不十分である。	

評価項目 V-1-(3)

非常勤職員等にも日常の指導を行っているか

判断基準		評価
A	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務にあたっては職員と非常勤職員の組み合わせなどの配慮をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤職員に対し、職員と同様に資質向上への取り組みを行っている。	
B	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤職員の指導担当者が定められ職員間のコミュニケーションが図られている。	
B	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤職員にも業務マニュアルが配布されている。	
C	業務マニュアルもなく、取り組みが不十分である。	

評価分類 V-1 評価の理由(コメント)

評価
園運営上の人員配置は経験のある常勤職員と非常勤職員や新人職員を組み合わせ、週ごとに職員配置表を作成し、スムーズな保育運営を心がけています。 職員に欠員が出た時は速やかに本部に報告し人員の補充をするようにしています。人員育成計画は園長が、経験や意欲を考慮して作成しています。新人職員に対しては、理念や方針の重要性を学ぶ機会として初任者研修を受講させ、4年目のベテラン職員が1年間コーチとして指導します。期待役割面接により、職員の課題に対する達成度を評価しています。
園長は、職員が勉強したいという意欲・ニーズを考慮し、適切で、有効な研修を勧めています。 内部研修のテーマは職員会議で決めています。特に役職員がしてはならないことや守るべきことの綱領であるコンプライアンス・コードを全職員に配布し意識徹底を図るために研修会を実施しています。園外の研修である本社や自治体が主催する研修に参加するようにしています。研修受講後に研修報告書を作成、回覧し、職員会議等で話し合い保育に生かしています。
保育サービスを向上させる観点から、非常勤職員を含む職員間の話し合いをさらに密にすることが望まれます。 今回の利用者家族調査の結果では、「保護者との連携・交流について」のうち6つの質問(問6の1・2・4・5・6・7)に対し、「満足」と「どちらかといえば満足」の回答者割合は合せて63~74%で、高い水準とはいえませんでした。よりよい保育サービスを提供していくためには、職員間のコミュニケーションが重要と考えられます。



評価分類V-2 職員の技術の向上

評価項目V-2-(1)

職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の自己評価や、保育所の自己評価を計画的に行う仕組みを持っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 工夫・改善した良いサービス事例をもとに、一層の保育の質の向上を目指した会議・勉強会が開かれている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて外部から保育の技術の評価・指導等を受ける仕組みがある。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目V-2-(2)

職員等が保育や業務の計画および記録を通してみずいからの実践を振り返り、改善に努める仕組みがあるか。




判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員等一人一人が、自己の実践の振り返りをし、文章化できるように計画や記録の書式が定型化されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 振り返りは、計画で意図した保育のねらいと関連づけて行われている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 振り返りは、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの育ちや意欲、取り組む過程などを重視して行っている。	
<input checked="" type="checkbox"/> 職員等一人一人が振り返りを通して自己の実践を評価し、改善やその後の計画作成に反映させている。		
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目V-2-(3)

職員等の自己評価を踏まえ、保育園としての自己評価を行っているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員等の自己評価の結果を互いに報告し合い、話し合っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員等の自己評価の結果から、園としての課題を明らかにし、改善に取り組んでいる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育所としての自己評価は、園の理念や保育の方針、全体的な計画に沿って行われている。	
<input checked="" type="checkbox"/> 保育所としての自己評価を公表している。		
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類V-2 評価の理由(コメント)

評価	
<p>職員の自己評価は「職員チェックリスト」(専門スキル70項目)や「自己評価チェック108」により、年2回実施しています。</p> <p>「職員チェックリスト」では、保育基本や企業理念の理解の進捗をチェックし、「自己評価チェック108」では、自分の日々の保育がどういった状況にあるかを5段階で評価しています。園の自己評価を実施していて、保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標となっているかなどを項目別に4段階で評価しています。保育の質向上のため、勉強会を行い保育アドバイザーから指導を受けています。</p> <p>年間指導計画や月間指導計画、週間計画に、自己評価として実践を振り返り、改善に生かす仕組みを設けています。</p> <p>例えば、年長組の指導計画の振り返り欄には、「あたらしい環境にも慣れたことや友達ができただが、まだまだ深い付き合いではない、さらに仲良くなる機会を増やしていきたい」などのコメントが見られました。指導計画の振り返りは、指導のねらいや子ども達の育ち・意欲・取り組む過程を重視しながら行っています。自己評価の結果を、その後の計画作成に生かしています。</p> <p>職員の自己評価結果を職員会議などで報告し合い、個々の課題や園の課題を話し合っています。「期待役割シート」で園としての傾向を把握し、課題を明らかにし、改善に取り組むようにしています。例えば、園としての傾向として、地域との関わりが薄いとの意見があり、今後は園庭開放や絵本の貸し出しなどを検討しています。保育園の自己評価は保育理念や保育目標などの項目別に行われています。園の自己評価結果は公開しており、職員や保護者も閲覧できるようになっています。</p>	  

評価分類V-3 職員のモチベーションの維持

評価項目V-3-(1)




【新規項目】総合的な人事管理が行われているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 法人(保育所)の理念・基本方針にもとづき人材育成計画が示されているとともに、配置や昇進・昇格等に関する人事基準が明確に定められ、職員等に周知されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価する仕組みがある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 評価については、職員に開示する仕組みがある。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目V-3-(2)

本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 経験・能力や習熟度に応じた役割が期待水準として明文化されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもと保護者の状況に応じ自主的に判断できるように、現場の職員に可能な限り権限を委譲し、責任を明確化している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員から業務改善の提案を募ったり、意見を聴取するためのアンケートなどを実施している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個別の面接・調査等により、職員の満足度・要望などを把握している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類V-3 評価の理由(コメント)		評価
<p>「期待役割シート」に職員一人ひとりの経験や能力、習熟度に応じた役割が明示されています。</p> <p>「期待役割シート」をもとに園長は職員と年二回個人面談を行い、評価期間の職員の職務に関する成果や貢献度を話し合い、職員の意向や希望を聞き配置や昇進、昇格等に関する人事に反映させています。「期待役割シート」は園長の評価のコメントを付して本社に送られ、賞与等の資料となっています。職員から直接本社へ封筒で手紙を送付して意見や要望を伝える職務申告制度があります。</p>		  
<p>保護者からの相談や意見は、担任が窓口となって対応しています。</p> <p>その場で回答できることは担任が対応し、回答が難しい案件は園長や本社などに相談しています。職務分担表には、職員の職務として、保育に関する業務に加え、保護者との連携等が含まれています。各行事の際に職員アンケートを実施し業務の改善の提案や意見を収集し、職員会議等で話し合っています。期待役割面接で、職員から意見、要望を聞き、職務に対する満足度を把握するとともに、話し合いの最後に「ありがとう」の言葉や次につながる言葉をかけています。</p>		

評価領域VI 経営管理

評価分類VI-1 経営における社会的責任

評価項目VI-1-(1)

保育所として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 組織及び職員が不正・不適切な行為を行わないよう守るべき法・規範・倫理等が明文化され職員に周知されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 経営、運営状況等の情報が積極的に公開されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育保育園での不正、不適切な事案を題材とした研修を行い、それらの行為を行わないよう啓発している。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目VI-1-(2)




【新規項目】公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われているか。注)本項目は、市立保育所については非該当とします。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育所における事務、経理、取引等に関するルールや職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に明文化したものを配布している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育所等における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 外部監査の指導や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目VI-1-(3)

保育の質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> ゴミ減量化・リサイクルのための取り組みを行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 省エネルギーの促進・緑化の推進などの取り組みを行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 環境への考え方、取り組みが明文化され、運営に活かされている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類VI-1 評価の理由(コメント)		評価
<p>組織や個人が不正や不適切な行為を行わないよう守るべき法や規範、倫理についてコンプライアンスコードを用意し、全職員に配布しています。</p> <p>コンプライアンスコードには法規範の遵守として、法令を遵守することはもとより、社会規範、企業倫理を尊重し、良識ある企業活動を心がけるとしてしています。運営状況などの情報を職員や保護者が見られるように、観覧用ファイルに入れて玄関に置いています。他保育園の不正や不適切な事案を職員会議でのテーマとして取り上げ、問題点を話し合っています。</p>		  
<p>職務分担表に各人の職務を明確にし、事務室に掲示しています。</p> <p>園長の職務として、法人の決定事項の執行及び事業報告、園の経営管理、事務管理、財務管理、人事管理などを挙げています。主任の職務は保育指導計画の指導や行事の計画・指導などを挙げています。職員の職務は指導計画の立案や保育業務などとなっています。園の事務や経理について本部の内部検査を定期的に受けており、検査結果は園にフィードバックされ職員会議で周知徹底しています。</p>		
<p>ゴミの減量化とリサイクルに仕組み、節電・節水を心がけています。</p> <p>ゴミの減量化とリサイクルのため、できるだけコピー用紙は古紙の再利用と裏面を利用しています。節電・節水のため、エアコンの設定温度を夏は28度、冬は20～22度にしています。今年の夏は、グリーンカーテンとして、園庭側の窓ごしにゴーヤの苗を植えました。育ったゴーヤをから揚げにし給食として食べています。各職員が意識して行えるよう室内の設定温度の貼り紙をしたり、互いに声をかけ合ったり、省エネルギーの促進などに取り組んでいます。</p>		

評価分類VI-2 保育園長のリーダーシップ・主任の役割等

評価項目VI-2-1(1)

保育園の理念や基本方針等について職員に周知されているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・基本方針を明文化したものを掲示または職員に配布している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員に朝礼・会議等で周知し、理解を促すための説明をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・基本方針を職員が理解できているか、保育園長・主任が定期的(採用時1回、採用後は最低年1回)に確認している。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目VI-2-1(2)

重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。




判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 重要な意思決定にあたり、保育園長は保護者と継続的に意見交換をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 重要な意思決定(変更)について、職員及び保護者に目的・決定(変更)理由・経過等を前もって十分に理解できるように説明している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 異なる部門の職員による検討チームを編成し組織をあげて取り組むしくみがある。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目VI-2-1(3)

主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> スーパーバイズのできる主任クラスを計画的に育成するプログラムがある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 主任が個々の職員の業務状況を把握できるしくみがあり、有効に機能している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 主任は個々の職員の能力や経験にあわせた確かな助言や指導を行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 主任は個々の職員が精神的・肉体的に良好な状態で仕事に取り組めるよう、具体的な配慮を行っている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類VI-2 評価の理由(コメント)

評価の理由(コメント)		評価
<p>理念や基本方針は、「運営ガイドライン」や園の中期計画、事業計画に明文化し、玄関や事務所に掲示するとともに、職員にプリントで配布しています。</p> <p>職員の名刺の裏面に保育方針や保育目標を記載しています。職員会議に「運営ガイドライン」を必ず携帯し、読み合わせをしています。内容の理解ができるように、具体化して話したり、職員がどのよに捉えているかを発言してもらっています。年2回の期待役割面接で理念・方針の理解ができているかどうかを確認しています。</p>		  
<p>運営委員会は、年2回開催され、各クラスの保護者代表2名、第三者委員、本社社員、園長、職員代表1名が出席し園運営や意見交換をしています。</p> <p>重要な意思決定や変更があった場合は、その目的や理由、経過等について、前もって理解ができるように説明しています。行事等を行う際には、栄養士や看護師など異なる部門の職員を含めた職員会議で手順や役割分担等を取り上げ、検討しています。</p>		
<p>スーパーバイズのできる人材育成として、本社はリーダー研修やコーチ研修を用意しています。</p> <p>職員はコーチ研修を受講し、マネジメントについて学んでいます。コーチ研修を受講する職員は新卒入社の職員は4年目から、中途入社の職員は2年目から受講しています。園長はコーチ研修を受講した職員の配置の際は、いろいろなクラスに入り保育の状況を把握できるように配慮しています。コーチ研修を受講した職員は新人職員に面接をしたりアドバイスをしています。</p>		

評価分類VI-3 効率的な運営

評価項目VI-3-(1)

外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。




判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育園運営に影響のある情報を収集・分析している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 重要な情報は幹部職員や主要な職員間で共有するため会議等で議論し、重点改善課題として設定されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 運営面での重要な改善課題について、職員に周知し、保育所全体の取り組みとしている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目VI-3-(2)

保育園運営に関して、中長期的な計画や目標を策定しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 中長期的な事業の方向性を定めた計画を作成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 【追加項目】中長期的な計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 次代の保育所運営に備え、運営やサービスプロセスの新たなしくみを常に検討している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 次代の保育所運営に備え、幹部職員は計画的に後継者を育成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 運営に関し、外部の機関や専門家などの意見を取り入れる努力をしている。	
B	Aの中でいずれか3つは該当する。	
C	Aの中で1~2つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類VI-3 評価の理由(コメント)

評価の理由(コメント)		評価
<p>保育園の運営に関わる情報は区役所や法人の全体会議や園長会議、ブロック会議などから入手しています。</p> <p>全体会議は月1回本社で開催され、本社の役員が出席し、各園長は会社全体の運営方針や課題等を聞いています。園長会議は、同日全体会議の後にブロックに分かれて開催され、各園の実績等について話し合っています。ブロック会議は神奈川地区の保育園が集まって、園運営や人事、建物等の修繕、行事について話し合っています。重要な改善課題は職員会議で周知しています。</p>		  
<p>本社の中・長期計画をもとに、園では中期計画や事業計画を策定しています。</p> <p>中期計画には、運営計画や保育計画、職員育成計画、収支計画などについて3年後の姿や最終のあるべき姿が描かれています。単年度の事業計画書には、運営方針や保育方針、保育目標、保育体制、年間行事予定などを記載しています。新たなサービスの仕組みとして、もじかずランドやナーサリー文庫、えほんだより、スポチャンクラブの活用などを計画しています。市の巡回サポートや外部アドバイザーの意見を取り入れています。</p>		

利用者家族調査の結果

調査の概況

調査対象: 2018年10月現在、在園の子どもの保護者50人(世帯)を対象としました。
 調査方法: 2018年9月14日～2018年9月28日の間、保育園から保護者へアンケート調査票を配布してもらい、記入後評価機関へ直接郵送する方式により回収し、回答者数は27人(世帯)、回答者割合は54.0%でした。

結果の特徴

回答者の総合的評価(総合満足度)は、「満足」が9人(33%)、「どちらかといえば満足」が14人(52%)、「どちらかといえば不満」が4人(15%)、「不満」が0人(0%)でした。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせると23人(85%)という結果でした。

個別の質問に対し、問1「園の保育目標・保育方針を知っているか」は、「よく知っている」はなく、「まあ知っている」が13人(48%)という結果でした。「満足」の回答が多かった項目は、問4-7「給食の献立内容」が20人(74%)と最も多く、次に問4-8「お子さんが給食を楽しんでいるか」は18人(67%)でした。一方、問3-1「年間の保育や行事の説明」は「満足」が5人(19%)、問6-1「保護者懇談会や個別面談などの話し合いの機会」は「満足」が5人(19%)と、いずれも少ない結果でした。

保育園に対する意見・要望には、「子どもはとても楽しく過ごしていると思いますが、先生が辞めてしまう事が多く、子どもが戸惑っていたり不安になったりと、私も「またか」と思う事が多いです。先生不足もあたりとで、キチンと先生と保護者が話をする事も少ないと思います。」などの記述がありました。

■ 保育園の基本理念や基本方針について

問1 あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか(○は1つだけ)

よく知っている	まあ知っている	どちらかともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
0	13	5	5	2	2
0%	48%	19%	19%	7%	7%

「1 よく知っている」または「2 まあ知っている」と答えた人のうち

1-2 その保育目標や保育方針は賛同できるか

賛同できる	まあ賛同できる	どちらかともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
4	9	0	0	0	2
27%	60%	0%	0%	0%	13%

■ 保育園のサービス内容について

問2 お子さんが入園する時の状況について

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
2-1 見学の受け入れについては		10	11	0	0	5	1
		37%	41%	0%	0%	19%	4%
	その他	してない。上の子居たので見学なし(複数)。					
2-2 入園前の見学や説明など、園からの情報提供については		7	14	4	2	0	0
		26%	52%	15%	7%	0%	0%
	その他	兄弟がいたので知っていた。入園前の説明会と(職員の配置が)入ってみたら違った。					
2-3 園の目標や方針についての説明には		5	19	3	0	0	0
		19%	70%	11%	0%	0%	0%
	その他						

2-4 入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については		10	14	2	0	1	0
		37%	52%	7%	0%	4%	0%
	その他						
2-5 保育園での1日の過ごし方についての説明には		11	10	5	0	1	0
		41%	37%	19%	0%	4%	0%
	その他	説明は満足ですが、・・・。					
2-6 費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを含めて)		7	16	3	0	1	0
		26%	59%	11%	0%	4%	0%
	その他	入園後の食い違いが多く、・・・。					

問3 保育や行事の年間計画について

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
3-1 年間の保育や行事のについての説明には		5	17	3	0	2	0
		19%	63%	11%	0%	7%	0%
	その他	行事の日の連絡が遅い。					
3-2 年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては		6	13	4	0	3	1
		22%	48%	15%	0%	11%	4%
	その他	要望を聞かれたことはありません。					

問4 日常の保育内容について

【遊び】について

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
4-1 クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)		10	13	2	2	0	0
		37%	48%	7%	7%	0%	0%
	その他						
4-2 子どもが戸外遊びを十分しているかについては		7	10	6	3	1	1
		25%	36%	21%	11%	4%	4%
	その他						
4-3 園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)		11	14	1	0	1	1
		39%	50%	4%	0%	4%	4%
	その他	もう少し年齢にあったおもちゃ、絵本を用意してほしい。					
4-4 自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については		10	10	5	1	1	0
		37%	37%	19%	4%	4%	0%
	その他	もっと園外活動をしてほしい。					

4-5 遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては		10	13	4	0	0	0
		37%	48%	15%	0%	0%	0%
	その他						
4-6遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては		8	15	3	0	1	0
		30%	56%	11%	0%	4%	0%
	その他	特に健康づくりの取り組みをしている等聞いていません。					

【生活】について		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
4-7 給食の献立内容については		20	7	0	0	0	0
		74%	26%	0%	0%	0%	0%
	その他						
4-8 お子さんが給食を楽しんでいるかについては		18	7	0	0	2	0
		67%	26%	0%	0%	7%	0%
	その他	好き嫌が多いので、食べられるもののみ食べています。					
4-9 基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては		14	11	1	0	1	0
		52%	41%	4%	0%	4%	0%
	その他						
4-10 昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては		11	12	2	1	1	0
		41%	44%	7%	4%	4%	0%
	その他	午前睡しないで午後睡のみの日がある。					
4-11 おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては		10	12	1	0	3	1
		37%	44%	4%	0%	11%	4%
	その他	まだしていません。まだはずす時期ではないが、おむつ交換をママにやってくれない時がある					
4-12 お子さんの体調への気配りについては		10	14	2	0	1	0
		37%	52%	7%	0%	4%	0%
	その他	熱に対しては気にしすぎている点があります。					
4-13 保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には		10	12	3	1	1	0
		37%	44%	11%	4%	4%	0%
	その他						

問5 保育園の快適さや安全対策などについて

		満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
5-1 保育園設備については		13	13	0	1	0	0
		48%	48%	0%	4%	0%	0%
	その他						
5-2 お子さんが落ち着いて過ごせる雰 囲気になっているかについては		12	14	1	0	0	0
		44%	52%	4%	0%	0%	0%
	その他						
5-3 外部からの不審者侵入を防ぐ対策 については		10	10	6	1	0	0
		37%	37%	22%	4%	0%	0%
	その他						
5-4 感染症の発生状況や注意事項など の情報提供については		7	15	4	0	1	0
		26%	56%	15%	0%	4%	0%
	その他	タイムカード付近に表示するだけでなく、声かけもしてほしい。					

問6 園と保護者との連携・交流について

		満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
6-1 保護者懇談会や個別面談などによ る話し合いの機会については		5	13	6	2	1	0
		19%	48%	22%	7%	4%	0%
	その他	懇談会は1度開催されたが、特に。					
6-2 園だよりや掲示などによる、園の様 子や行事に関する情報提供については		11	8	4	4	0	0
		41%	30%	15%	15%	0%	0%
	その他						
6-3 園の行事の開催日や時間帯への 配慮については		9	16	2	0	0	0
		33%	59%	7%	0%	0%	0%
	その他						
6-4 送り迎えの際、お子さんの様子に 関する情報交換については		8	9	5	4	1	0
		30%	33%	19%	15%	4%	0%
	その他	担任であれば満足、その他職員は不満あり。					
6-5 お子さんに関する重要な情報の連 絡体制については		11	6	7	1	1	1
		41%	22%	26%	4%	4%	4%
	その他	重要な情報は担任にしていきたい、担任不在が多い。					

6-6 保護者からの相談事への対応には		8	12	3	3	1	0
		30%	44%	11%	11%	4%	0%
	その他	担任の先生の対応には満足ですが、その他の先生に対しては不満あり。					
6-7 開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については		11	9	0	0	2	5
		41%	33%	0%	0%	7%	19%
	その他	遅くなったことがない。半休の時など、柔軟に対応してくれない。					

問7 職員の対応について

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
7-1 あなたのお子さんが大切にされているかについては		17	8	1	0	1	0
		63%	30%	4%	0%	4%	0%
	その他	担任については満足、その他職員については抱っこもしてくれず不満。					
7-2 あなたのお子さんが保育園生活を楽んでいるかについては		16	9	1	0	1	0
		59%	33%	4%	0%	4%	0%
	その他	まだ慣れず泣く、楽しんでいるように思えない。					
7-3 アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については		8	9	0	0	4	6
		30%	33%	0%	0%	15%	22%
	その他	アレルギーなし。食物アレルギーは完全除去だけでなく、一部除去対応もしていただきたい。					
7-4 話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては		12	13	1	0	1	0
		44%	48%	4%	0%	4%	0%
	その他	担任については話しやすく適切に対応して下さる。					
7-5 意見や要望への対応については		8	10	4	1	2	2
		30%	37%	15%	4%	7%	7%
	その他	臨機応変に対応できず連絡も遅い。					

問8 保育園の総合的評価

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答
総合満足度		9	14	4	0	0
		33%	52%	15%	0%	0%

問9 保育園への意見・要望など

【問1 保育園の保育目標・保育方針について】

・記述はありませんでした。

【問2 入園する時の状況について】

・入園時の説明はしっかりしてくれました。

・職員の人数が足りないせいか、他のクラスと合同で過ごすことが多いように感じます。

・担任も子ども6人に対して2名、1名は非常勤の方でほとんど会うことなく、話もできないので、どんな方が分からず不安です。

【問3 保育や行事の年間計画について】

・行事が終わればアンケートを取ってくださったりと保護者の意見聞いて下さってます。

・入園説明会で少し説明あり。年間行事は連絡帳と共にお手紙で入っているだけで、説明ありませんでした。

・行事の日の連絡が遅い。

【問4. 1 日常の保育内容(遊び)について】

・真夏は外遊びを少なくして室内でめいっぱい遊んでいました。とても感謝しています。

・細かいケガにもちゃんと説明してくれます。でも、よくゴム・洋服が無くなるのはどうしてかと思っています。

・朝の合同保育時もいつも同じブロックしか出ていないので、子どもが楽しめているとは思えません。

【問4. 2 日常の保育内容(生活)について】

・好き嫌いが多く、食べられるもののみ食べています。

・先生の都合のせいか、午前睡しないで午後睡のみの日があります。

・熱に対しては気にしすぎている点があります。それ以外に対しては、こちらが気にしていると気にして下さる程度です。

【問5 保育園の快適さや安全対策などについて】

・感染症発生時は、感染を防ぐことが第一だと思うので、周知・徹底してほしい。掲示板だけでは見過ごしていたので、送り迎えの時に必ず伝言してほしい。

・送迎の動線があまりよくない。園庭側から入るのは改善してほしい。

【問6 園と保護者との連携・交流について】

・意見交換を行うことはある程度できているかと思う。いろいろ試行錯誤中なのかなと感じるところがあるが、そこは結果良い方向へ進めばよいかと思っている。が、本部の方が来て定期的に会議が行われたり、保護者向けの説明会が開かれるが、本部の方々は園児についてどう思っているのか不満に思う。園児を中心により良い対策を行っているとは思えない。

【問7 職員の対応について】

・みなさん笑顔で接してくれています。保護者は先生の名前が全然わかりません。出来たら名前プレートなど付けてもらえると、すごく助かるのですが。

・先生によって対応が全然違う。

・意見や要望については、クラス懇談会などで伝えているが、それらに対する回答がないのが残念に思う。

【保育園への意見や要望】

・感謝しています。家ではできない生活習慣も(食事、トイレなども)身につけてきているし、お友達と過ごすことでとても刺激を受け、社会性といえるようなものも日々成長しています。先生方も、私の話を良く聞いて下さるので、安心してあずけられます。子どもの様子に合わせて、日々対応して下さいと感じます。このほか、多くの記述がありました。

・先生の入替りが多く、途中で担任が替わり、病欠で休みいつの間にか退職。行事などでは先生方が待ちの状態であることが多く、イニシアティブを取って動く方が少なく感じます。こういった事が原因かは判りかねますが、手薄感が拭えないでいるのが正直な今の気持ちであり、親として不安を感じているのが現実です。

このほか、多くの記述がありました。

■保育園に通っている子どもについて(保育園に2人以上通っている場合は、下の子ども)

0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答
3	5	5	6	5	3	0
11%	19%	19%	22%	19%	11%	0%

利用者本人調査の結果

調査の概況
<p>保育園は園庭をL字型で囲む平屋作りで、保育室は適切な広さを確保しています。0歳児は1クラス6人、1歳児クラスは8人、2歳児クラス10人でそれぞれ独立した保育室になっています。3・4・5歳児は各12人でワンフロアを低い戸棚で仕切り活動しています。2・3・4・5歳児室の前にはベランダがあり園庭に繋がっています。外活動では散歩や園庭遊びがあり、砂場遊びや氷鬼でのびのびと駆け回る姿が見られました。保育室内では、ままごとやブロック遊び、手作りおもちゃ、絵本など職員と一緒に遊ぶ姿がありました。食事、排泄、午睡、おやつなど職員の見守りや援助を受けながら、基本的な生活習慣を身につける姿が見られました。そうした保育園の様子を訪問調査を兼ねて1日半の間、2人の調査員が乳児と幼児に分かれて観察しました。また、幼児3人から日ごろの保育園生活について聞き取り調査を行いました。</p>
保育の様子・こどもの様子等結果の特徴
0歳児組
<p>目を閉じて眠そうな子に「ごはんが直ぐ来るよ」と職員が声掛けしています。子どもはエプロンを着け、手を拭いてもらっています。テーブルを前に椅子に座っている子どもたちはトレイの上にご飯、おかず、スープ、お茶がセットされての食事です。ご飯を手で掴んで食べる子、スプーンでご飯を掬って食べる子、頬にご飯粒をつけて食べています。子どもが「あーあー」といい、ご飯を掬って口に入れると職員が「おいしい、おいしい」「あら上手」と声掛けしています。テーブル付き椅子に座る低月齢2人の子どもはご飯やおかずやスープが交互に置かれ、職員が食事の援助をしています。「フォークをどーぞ」と持たせてみたり、野菜の名前を伝えたり、残りのご飯を「あつまれあつまれ」とスプーンで纏めて子どもの口に入れ、完食ができるように援助していました。</p>
1歳児組
<p>カーテンが閉められ午睡の時間です。お部屋の半分のスペースに8枚の布団を敷き、寝食別になっています。パジャマに着替えてふとんのうでごろごろしている子、布団の上を歩く子、布団に入り上掛けをかけて眠る体制の子、いろいろです。職員が布団に入っている二人の子どもをさすりながらトントンしています。他の職員が小さな絵本を開き、片隅に座り、小さな声で絵本を読み始めました。布団の周りを歩いていた子どもも自分の布団に入り、絵本を見ながら聞き入っています。だんだん周りが静かになり、眠りに落ちていきました。</p> <p>午睡から覚めるとトイレです。トイレ室に職員が入り、子どもの状況を確認しています。終わると紙パンツをはくのを手伝っています。トイレの前に敷いたシートの上で紙パンツを自分ではこうしている子もいます。職員が一人一人の子どもにズボンの前後を教えたり、途中まで手伝い、一人でやり遂げるよう言葉を添えています。</p>
2歳児組
<p>3つのテーブルを繋げて一つのテーブルにし、みんなで顔を合わせながらの食事です。洗面所での手洗いを済ませ椅子に座っています。「手はお膝、腕まくりして」と職員、2歳児はトレイなしでテーブルの上に食事がセットされました。「今日はギセイ豆腐、ほーれん草、ベーコン、ニンジンも入っているよ。スープにはコーンも入っている」メニューの紹介を職員がしています。みんなで一緒に「いただきます」の挨拶で食事が始まりました。「これ麦ごはん？」「違うよ。麦ごはんは黒い線が入っているのよ」と職員が説明しています。スープの中のコーンを食べようとする子どもに「丸くて可愛いこれを一つ食べてみよう」と勧めています。なかなか子どもは応じません。職員は無理強いせず他のおかずが完食できるように勧めています。それぞれの子どもに目配りしながら「お野菜食べれたら、ピッカリコン」など楽し気に食事を促していました。2歳児はママやパパとのお出かけしたことや今日はパパがお家にいることなどを話していました。</p>
3歳児組
<p>好きな遊びは、カプラで線路やガソリンスタンドを作って遊ぶことです。夕方の合同保育では子ども3人が力を合わせカプラを連ねて、長い線路やガソリンスタンドを作って保護者が迎えにくるまで楽しそうに遊んでいました。好きな食事はニンジンやゴーヤ、ネギの入ったものです。食事のおかわりはでき、体調が悪く残したい時は残せますが、最初からご飯等を少なくしてもらうようにしています。具合が悪い時は体を休ませるようにして、早めのお迎えをもらっています。トイレは行きたい時に先生に声をかけて行きます。寝る前にはトイレに行くようにしています。</p>
4歳児組
<p>好きな遊びはおもちゃでカメンライダーやルパンレンジャーを作ることです。カメンライダーの本も好きです。好きな食事はハンバーグと海老フライです。食べ物は全部食べるようにしていますが、無理強いしないで残しています。トイレは先生にことわっていつでも行け、漏らした時は先生がきれいに拭いてくれます。遊んでケガをした時は、先生に絆創膏を貼ってもらいます。頭のケガをした時は、タオルを頭に巻いてナースと一緒にタクシーで病院に行きました。ケンカでのキックはしないように言われました。夕方の合同保育でポケットモンスターのパズルを楽しんでいました。</p>

5歳児組

好きな遊びは、歌や絵です。特にドラゴンボールの歌が好きです。食事は焼いたイカやタコが好きです。海老フライも好きです。食事のおかわりは自由でおかずは残さないようにしています。トイレは行きたい時にっていますが、トイレで遊んでいると先生に注意されます。トイレが汚れると先生が掃除をしてくれます。衣服が汚れた場合は、ロッカーからきれいな園の衣服を出して使っています。皆が見ていない所で着替えました。衣服がドロロンコになったりした時は先生が洗たくして、きれいにしてくれました。

事業者のコメント

第三者評価の過程やアンケートの結果・ご意見から保護者の皆様がどのようなところで心配をされているのかということがわかり、非常に参考になりました。今回の結果を踏まえ、①保育士の育成・定着の取り組み、②送り迎え時や保護者懇談会や個人面談の実施の工夫、③園での取り組みを保護者の皆様に伝える努力、④運営力の向上、⑤合同保育時の工夫、⑥自主性をはぐくむコーナー保育の設置をし、安心と信頼を築く努力をしてまいりたいと思います。

「家庭以外で食べる初めての食事」としての給食で、様々な食材を安心・安全に且つ美味しく食べられるような工夫、0・1・2歳児で、着替えやおむつ交換時お子さんの自信を育てられるような職員とお子様のコミュニケーションと手助けと見守り、幼児クラスでの遊びの環境設定、学研アプローチの取り組み等を評価していただけたことは今後の研鑽へとつながります。

子どもたちを第一に考え、職員全員が意見を出し合い、職員同士のそれぞれの意見を擦り合わせ、認め合いながら保育を実践していくことが大切であることを感じます。

今後は、本部・施設長・職員が一丸となり、ご家庭との連携をしていながら、「育ちのチカラ」を信じ、園児たちの一人ひとりの個性や自分らしさ「個」を大切ににあたたく、のびのびと活動できるよう丁寧に保育をしていき、利用者皆様に喜ばれる保育園を目指していきたいと思ひます。